

東医祭2015 × 100周年

～創立100周年記念グッズ販売～



学外へ行く際の手土産や各種イベントの記念グッズとして等みなさんぜひ創立100周年記念グッズを活用してください!

10月31日(土)、11月1日(日)に開催された今年の東医祭では、創立100周年記念グッズのブースを設け、店頭販売しました。学生・教職員のみなさんには厚手のトートバッグが人気で、受験生の方には、ノートが人気でした。大学ノートを何冊も買い「これで受験勉強します!」といってくれた方も。

記念グッズ全商品を詰め合わせた、東医祭限定販売の「ALL東医セット」は、学生をはじめ受験生や保護者の方からOBの方まで大好評いただき、**2日間で55セットを完売**しました。

この記念グッズをきっかけに、**創立100周年を迎える「東京医科大学」**をより多くの人に知っていただき、**アピール**していければと思います。

臼井理事長や鈴木学長も「ALL東医セット」を購入! 鈴木学長とは、はっぴをきて一緒に記念撮影もできました! ありがとうございます!



◆現在、(有)東医社にて販売しています
<http://touisha.co.jp/100thanniversary.html>

創立100周年
記念グッズ販売

カウントダウンリレー写真撮影好調!

東医祭期間中にカウントダウンリレーの写真撮影にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました!



後夜祭 和太鼓演奏、エールが夜空に響く

東医祭二日目の夕刻、ライトが芝生を照らすグラウンド。鳴り響く和太鼓の音に、一瞬にして心をつかまれました。学生たちも次第に集まり、あっという間に人だかりができていました。

気づけば、音を聞きつけた近隣の方も見に来ており、学生の勇姿と美しい音色を前に、「医学生がこんなに演奏できるなんてすごい」と絶賛。「こういう催しをやるなら事前にもっとお知らせしてほしい」といった要望の声もいただきました。



「和太鼓集団だるま」
東京・神奈川を中心に活動する学生による和太鼓グループ。
今回の東医祭実行委員長がリーダーを務める。



その後、応援団から東医祭実行委員や三部会(学生によるクラブ統括組織)、一年生らに向け、「エール」が贈られ、拍手とともに幕を閉じました。

100周年かわら版



2015
(平成27年)

第10号

発行:東京医科大学創立
100周年事業広報委員会

事務局: 法人経営企画・広報室

☎03-3351-6141(内線298)

✉keiei@tokyo-med.ac.jp

東京医科大学
創立100周年記念特設サイト
~Toward the next 100 years~

<http://www.tokyo-med.ac.jp/100years/>

創立100周年を迎える
2016年4月13日まで
あと **135** 日

連載企画

歴史に学び、
歴史を創る。

茨城特集

第6章 なぜ茨城に附属病院ができたのか？



茨城に附属病院ができた理由

大学を東京新宿の地に持つ本学が、なぜ茨城に附属病院を持つことになったのか。それを紐解くために、まず霞ヶ浦病院ができるまでの歴史に遡る。その敷地には、もともと海軍霞ヶ浦航空隊医務室があった。終戦と共に廃止されたこの建物を茨城県厚生農業協同組合連合会が国より借受け、新治協同病院(現:総合病院土浦協同病院)の「阿見分院」として発足した。

当時、本学では新制医科大学として再発足するために病床数不足が問題となっていた。そのため軍又は国が所有していた土地と建物を購入し、広大な附属病院を設置することを計画しており、都内にも候補となる施設があったのだが入手には至らなかった。そんな中、当時理事長だった緒方知三郎先生が友人を通して阿見分院譲渡の交渉を進め、昭和23年経営は協同病院のまま茨城県知事より認可を受けて開設。その後昭和24年10月、経営・診療共に本学附属の「霞ヶ浦病院」として開院した。

平成21年4月霞ヶ浦病院60周年の記念に「茨城医療センター」と改称され、現在に至る。



霞ヶ浦病院正門
<昭和24年10月開院>

茨城の「ギャラリーほっとスペース」で11月27日より歴史写真パネルを掲出中！茨城の皆さんはこちらもぜひご覧くださいね。

「高橋記念館」今昔物語

本学の前身である「東京医学専門学校」設立に尽力した学祖高橋琢也先生は、当時住んでいた家も売り払い、まさに全私財を投げ打って資金集めに奔走された。そんな学祖に敬意と感謝をこめて、昭和8年、同窓会を中心とする母校後援会より、米寿の祝として住宅を寄贈しようとしたが学祖はこれを辞退された。そこで代わりに、西新宿の大学病院敷地内に理事長住宅として木造平屋造りの建物を呈上したが、学祖の没後、大学側に返戻されたため、この建物は「高橋記念館」として、学生や教職員の憩いの場として使用された。

その後、現在の大学病院建設の際、この建物が取り壊されることになったが、その一部は茨城に移設された。これがのちに、院内保育園「ひまわり保育室」として使われるようになったのである。普段何気なく使われている建物にも、そんな歴史があったことを、学祖の尽力を無駄にしないためにも後世に語り継いでいきたい。

- 【参考文献】
 ○東京医科大学霞ヶ浦病院20年の歩み ○写真でとらえる30年
 ○東京医科大学五十年史 ○東京医科大学七十年史
 ○東京医科大学報60周年記念特別臨時号(昭和51年10月発行)



高橋記念館
<昭和56年12月>
(於 大学病院)



高橋記念館
<昭和57年7月>
(於 霞ヶ浦病院)



ひまわり保育室
<平成27年8月現在>
(於 茨城医療センター)

(監修:東京医科大学図書館)

地域の皆さんと もっとつながろう！

創学99年目に市民公開講座を
大学キャンパスで初開催

3病院ではおなじみの「市民公開講座」。市民の皆さんとの最大の交流の場となっていると思いますが、100周年を機会に、もう一步「地域との交流・貢献」を進めるべく企画されたのが本講座です。

地域との交流をもっと深めるためには？と、地元「医大通り商店会」に飛び込んだところ、「お隣なのに中がどうなっているのかさ全く分からない」という声に遭遇。まずは「顔が見える関係づくり」と、大学の中に入ってもらうことができ、医大としてできること、ということで公開講座の開催に至りました。

今後も、地域の皆さんとディスカッションを重ねながら、社会貢献や社会連携のあり方や内容を考えていきます。



平成27年11月14日(土)市民公開講座開催
演題「今からできる健康長寿のための運動」



家庭でもできる運動を練習する市民の皆さん

歴史写真展示「東京医科大学と新宿の街並み」を同時開催(第一看護学科棟1階にて継続展示中)



開会の挨拶をする 日井理事長
開会の挨拶をする 鈴木学長

えんがわ広報。

クイズ始まった
みたいじゃ。

6

本学に就職して十数年。今回「東医祭」を最初から最後まで見ることができ、実行委員長はじめ学生の皆さんのチームワークの良さとその活躍に感動しました！

特に、ビックアップでご紹介した和太鼓の演奏や応援団によるエールは、新宿とは思えない静けさの中で夜空に響き渡りとても幻想的な一幕でした。一人欠けても成しえないチームワークの素晴らしさ。ぜひこの感動を2016年にもう一度！(R)

東医クイズ

NO.1

de 記念グッズプレゼント！

【問題】「高橋記念館」は現在、どこの施設にあり、何という名称に変わっているでしょうか？

回答と100周年かわら版の感想を記入のうえ、メールでご応募ください。正解者のうち抽選で3名様に創立100周年記念グッズをプレゼントします！当選の発表は、商品の発送をもって替えさせていただきます。

応募先: keiei@tokyo-med.ac.jp 締切: 12月22日(火)迄
宛先: 法人経営企画・広報室 件名: 【東医クイズ応募】
※本文に商品発送先(氏名及び所属施設・部署名)記入

1月

開始
百周年
カウント
ダウン
リリース！

12月

ル
ハ王子
に
ブック
エンド
募金
開始

11月

販売
開始
百周年
記念
グッズ
一般

100
近未来
動
静